


ICT 実践レポート

作成者 中津川市立第二中学校 二村遼太郎

| | |
|--------------------|---|
| 学年 | 第3学年 |
| 教材 | 「多項式」大日本図書 |
| 活用したソフト アプリ | <ul style="list-style-type: none"> ・meet (google 系 zoom のようにオンラインミーティングができるもの) ・Jamboard (google 系 ホワイトボードのように自由に描画できるもの) ・form (google 系 アンケートや意見の収集が簡単にできるもの) |
| 活用した ICT 機器 | Chromebook (一人一台タブレット) |
| 活用の実態 | <p>【オンライン授業での活用】</p> <p>本校では、タブレットを使ったオンライン学習を見据えて、生徒を午前いっぱい下校させ、午後からオンラインを使った授業をするという取り組みを行った。</p> <p>授業内容は、「因数分解の復習」で、因数分解の問題を数問提示し、生徒に取り組みせ、答え合わせ及び解説をするというシンプルなものである。</p> <p>①問題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2. 因数分解の演習【基本編】 (問) 次の式を因数分解しなさい</p> <p>(1) $ab+2a$ (2) $8x^2+20xy$</p> </div> <p>あらかじめ用意しておいた問題を提示し、生徒に取り組みさせる。生徒は問題をタブレット上で確認し、普段使っているノートに書いて考えるようにした。</p> <p>②ヒントの提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(1) $ab+2a$ (2) $8x^2+20xy$</p> <p style="text-align: center;"> a 共通 因数 $x, 4$ </p> </div> <p>「できた人は挙手をする」という約束をつくり、生徒の進捗状況がすぐにわかるようにした。教え合いができないことから、一人でやり切れない生徒もいたため、付箋機能やペン機能を使ってヒントを提示した。</p> <p>③答え合わせ・解説</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【解答】</p> <p>(1) $ab+2a$ (2) $8x^2+20xy$</p> <p style="text-align: center;"> $= a(b+2)$ $= 4x(2x+5y)$ </p> </div> <p>解答もあらかじめ用意しておいた。解答を提示しながら話し、大事なことはペンで書くようにした。</p> <p>④振り返り</p> <p>Form で授業の感想を生徒に書かせて授業は終了した。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>学校で授業を進めている様子</p> </div> |
| 生徒の反応 生徒アンケートより | <ul style="list-style-type: none"> ○一人で学習するより意欲が高まるし、学校よりも集中してできるから良い。 ○問題やヒントが見やすくわかりやすい。 ○将来、社会に出て必ず使う機能だから、その練習としてもオンライン学習ができてよかった。 ▲仲間と教え合いができないから、問題につまづいたときに困ってしまった。 |
| 振り返り | <p>今回の実践で、ICT 機器 (一人一台タブレット) を使えば、自宅からでも授業を受けることができるということが証明できた。これからの教育を考えるという点でも、この実践は将来の役に立つのではないかと思う。同時にオンライン授業の弱点も見えてきた。集団で学び合えないため、「教え合いができない」「自分の思いを周りに発信することができない」という生徒の困り感や、「黒板を上手に撮影することができなかつたため、事前の準備に時間がかかった」という教師の困り感である。改善策を考え、いつでもオンライン授業をすることができるような準備をしていきたい。</p> |